

文芸

短歌

米納三雄 選

蒸し器より切り干し大根の湯気たちて里の香のする祖母の
香のする

星くずを散りばめしごと犬ふぐり土手一面に咲きて華やぐ

春の陽のうららなる野路歩みゆく我が古靴もはずる音たつ

雪の舞う朝の庭に水仙は香りほのかに花咲かせおり

涙して友と抱き合い別れ行く児等に思わず我も目を拭く

久々に風爽やかな日本晴れ物干し竿の衣が踊る

曇り日の静寂の中に誇るかに明るく香る白梅の花

デイケアも人の噂の社交場見ざる聞かざる言わざるが良し

決めし事一つも守れぬ情けなさそれでも綴る計画表を

春つづる白魚のあみにかかりいて小さき命ピチピチはねる

あさぎりが白く流るるさむき朝つめたくないかしらさぎ一羽

勧誘を断りたれば荒き音ドアに残して帰る行きたり

下陳 山田 凡骨
宮崎 村上 光子
宮崎 渡辺なお子

俳句

富永小谷 選

そよ風に闇を揺らして小米花
顛末は聞かで芳る恋の猫

里川に夕日ちりぢり犬ふぐり

耳遠き母に初音を告げにけり

木の洞になんと小草の芽吹きたる

古草を引き見て見出でし蟻の群

友癒えよ若葉のかくも色めきぬ

重々と春潮寄する浜に佇つ

静座する恋猫ならむ寺の門

定年の子が丹念に雛飾る

春も近い お前やせたくなかつかい

春も近い 娘も婚期今年どま

春も近い ソツと顔だすツクシンボ

春も近い 心浮かない解雇の身

春も近い ボロ丹前な払い箱

ここだけの話 こらあ誰にも言いなすな

ここだけの話 私も聞いたその話

ここだけの話 話半分聞いとこう

ここだけの話 儲け話は耳打ちし

ここだけの話 また隣でも同じ事

田上富岳 選

宮園 丸野 紀子

惣領 山本みな子

田原 佐藤 澄世

馬水 松本みどり

秋永 福岡ふさえ

上陳 松本 昭子

上陳 永田己智子

赤井 久保ます子

馬水 西村ハツエ

宮園 久保ます子

惣領 小森英美子

田原 野口 鈍輝

宮崎 小森英美子

寺迫 新村 典子

宮園 西田 流水

木山 増岡 酔粋

宮園 岩本よこく

狂句次号の課題「次の一手」「まだ早い」

投稿は役場広報係まで。毎月15日まで必着。
(数種に投稿される場合は、別にしてください。)

高齢者は、信号と横断箇所を守りましょう!!
青信号の点滅は赤信号と同じです。

